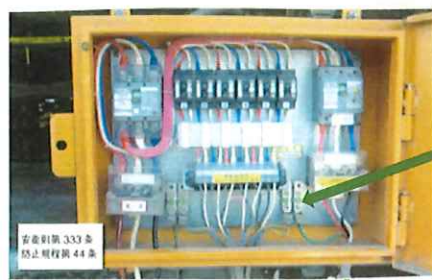


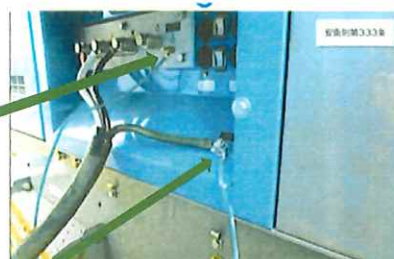
感電防止措置 ▯ 接地極(アース)を設置しよう！！

・プラスチック製箱の接地端子の例

・移動用発電機の接地端子の例



機能接地極



本体接地極

※移動用発電機は2本とも

接地極（アース）が必要

※接地極の設置工事は電気工事士の資格が必要です。

※接地端子に接地線を接続する作業は、電気工事士の資格は不要ですが「低圧電気取扱い業務特別教育」の修了者が行う。

	機能接地極（漏電リレー用接地端子）	本体接地極（外箱接地端子）
目的	漏電遮断装置（漏電リレー）が確実に作動するようにするための接地です。	金属外箱に万一電圧が加わった場合、人体への感電を防ぐための接地です。 (外箱がプラスチック製は必要なし)
接続先	出力端子板に設けられた専用端子	外箱に設けられた接地端子
接地方法	接地抵抗100Ω以下を目安に施工	
重要性	この接地がないと、漏電が発生しても遮断装置が作動しないので、感電事故の危険性が高まります。	外箱に電圧が加わる異常時に、電流を地面に逃がすことができ感電を防止します。

電工ドラム漏電遮断機の例

※温度センサー付きか漏電遮断器付きでなければコードを引き出して使用する。



※屋外ではキャップの付いた屋外用を使用する

屋外用電工ドラム

「目で見える安全」より